

2017年度 凍土分科会報告

雪氷研究大会（2017・十日町）において凍土分科会総会をおこなった。参加者は12名であった。

日 時：平成29年9月25日（月）16:30-17:30

場 所：：クロステン E会場

本年は役員改選の年にあたり、次期分科会会長に原田会員、幹事に池田会員と大石会員、監事に末吉会員が選出された。昨年度の活動報告として、アジア永久凍土会議 ACOP、北大低温科学研究所で開催された研究集会「永久凍土の動態解明のための多角的アプローチ」、および国立極地研究所で開催された「永久凍土のモニタリングと変動に関する研究集会」の後援、「雪氷」への凍結深データ掲載と凍土の啓蒙書製作の進行状況、「日本国内地温・凍結深データベース」の現状、分科会メーリングリスト・HPの維持が紹介され、H28年度の監査報告が示された。本年度の活動計画については、各集会、セミナーの後援の継続、地温・凍結深データベースの活用方法の模索、凍結深データ掲載と凍土本製作の推進が挙げられ、「雪氷」における凍土関連記事の充実や HP の充実、分科会の活性化などについて議論された。また、関連国際会議（EUCOP, IGS, ISAR など）の紹介がなされた。